

日本論理哲学会設立趣意書

いわゆる論理実証主義あるいは分析哲学に始まる現代の哲学の潮流は、種々の分野において様々な展開を見せている。それは伝統的な哲学の範囲にとどまらず、倫理学や、さらには言語学、認知科学等の科学に対しても関心を示してきている。もちろん、個々の分野のそれぞれの主題に対しては、対立する立場があり、基本的な問題に関してさえ、必ずしも意見が一致しているわけではない。けれども、その根底には、論理的、合理的な思考方法に基づいて問題の解決を図ろうとする態度が共通に見られ、現代の哲学を特徴づけるものとなっている。

一方、現代において論理学は、記号論理学としてめざましい発展を遂げている。このような現代の論理学の一部は、数学基礎論のように数学の一分野として専門分化されてきている。しかし、現代の論理学には、様相論理学や帰納論理学等のように、数学には属さない哲学的論理学と言われるものが存在し、その成果は逆に伝統的な哲学的問題の解決にも応用されている。

我々は、上記のような現代の哲学の伝統を継承、徹底化し、倫理学、科学、哲学的論理学等も含めた広範囲にわたる哲学的研究に対する貢献を意図し、「日本論理哲学会」を設立するものである。

1996年1月14日